

子宮頸がん検診結果を用いた HPV ワクチンの有効性の検討

公益社団法人 日本産婦人科医会では倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、対象に該当すると思われる方でデータの使用を同意いただけない場合は、下記問い合わせ先へご連絡下さい。宜しく願い申し上げます。

平成 29 年 8 月

公益社団法人日本産婦人科医会 がん部会担当常務理事 鈴木光明

【研究課題名】子宮頸がん検診結果を用いたヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの有効性の検討

【研究期間】承認日から 2018 年 5 月 31 日まで

【研究の意義・目的】

子宮頸がん検診において HPV ワクチン接種の有無と細胞診、組織診結果を調査することにより HPV ワクチンの有効性を検討します。海外では子宮頸がんの発生の予防に HPV ワクチンが有効であると報告されていますが日本でのその効果は明らかになっていないことから、既に行われた子宮頸がん検診を受けられた方々の HPV ワクチン接種の有無と検診結果を比較検討することである程度の HPV ワクチンの効果が予測できると考えてこの研究は行われています。

【研究方法】平成27、28年に子宮頸がん検診を受けた20歳～25歳の女性を対象とします。細胞診結果を年齢とHPVワクチン接種の有無ごとに分けてその人数だけを調べる研究です。

【個人情報の取り扱い】細胞診の結果後の人数調査のため収集した情報個人を特定できるような情報は含まれません。研究結果は後日学会発表や学術誌などで公表する場合があります。なお、本研究は既に受けられた検査結果に基づき検証するものですので、費用負担はかかりません。

【研究期間後の試料等の取り扱い】研究に関するデータは、研究の中止または終了後5年が経過するまで保存します。

【研究組織】

公益社団法人日本産婦人科医会 がん部会

住所：〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 14 市ヶ谷中央ビル 4F

電話:03-3269-4739

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関してご質問がある場合は下記までご連絡ください。

○問合せの窓口

戸澤晃子 公益社団法人産婦人科医会幹事

聖マリアンナ医科大学

難病治療研究センター診断治療法開発・創薬部門、産婦人科

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

TEL：044-977-8111内線：3332 FAX：044-977-2944

E-mail: a2ono@marianna-u.ac.jp